

金融商品取引法

黒沼悦郎

2016年10月発売／808頁／本体8000円＋税
A5判／上製



編集
担当者
から

「金融商品」には株券やデリバティブなど様々なものがあります。これらに関するルールを定めたのが金融商品取引法です。誰でも金融商品の取引を行って資産を形成することができますし、企業も事業のための資金の調達ができます。これがうまく回れば、世の中全体が豊かになると考えられます。しかし、健全に取引されないと大きな損失が生まれ、世界中に悪影響を及ぼすことにもなりかねません。健全に取引が行われるためには、必要な情報が開示されていなければならないし、知っている人だけがトクをするような不正な取引が行われてはならないのです。そして、金融商品を扱う業者や取引の場となる市場についても公正さを守るためのしっかりとしたルールが必要です。

著者はこの分野について長く研究してこられました。本書はその研究の結晶です。一見技術的な制度の背景にはどのような考え方が存在するのか、ほかにはどんな仕組みがありうるのか。著者はどう考えるのか。様々な問いに答えてくれる体系書です。(YF)

Index



2章～5章 = ディスクロージャー制度, 7章～9章 = 不正取引の規制, 10章～12章 = 業者と市場インフラの規制。

- 第1章 総論
- 第2章 有価証券の発行と開示
- 第3章 上場会社のディスクロージャー
- 第4章 ディスクロージャーの実効性の確保
- 第5章 公開買付け等の規制
- 第6章 金融商品市場の仕組み

- 第7章 インサイダー取引の規制
- 第8章 不正取引の禁止
- 第9章 投資勧誘の規制
- 第10章 金融商品取引業の規制
- 第11章 投資運用の規制
- 第12章 金融商品取引法の執行